

《質疑応答》

【災害公営住宅の整備について】

問 災害公営住宅について3つほど伺いたいと思います。追加で100戸ほど増やしたいということでしたけど、その理由と伺いますか、意向調査の詳しい結果等を教えていただきたいと思います。

もう一つ、当初の100戸分については、最初は来年の春に完成予定だったと思いますけど、それが来年9月以降に延びることになったのはどんな事情なのか、それと、公営住宅の完成が遅れることに伴って、仮設住宅に現在入居されている方への対応などをどのようにお考えなのかを教えてくださいと思います。

答 はい。追加の100戸を、今年の6月から実施した第2回目の意向調査の結果をもとに100戸追加しました。

調査内容は、世帯主の年齢・家族人員や住宅再建の方法、災害公営住宅への入居希望と建設希望地区等です。現段階の調査結果は回答率約80%、災害公営住宅への入居希望数約180世帯、80%の回答率での180世帯の希望、ということで、追加の100戸を要望したところです。

完成時期が遅れるというところについては、当初分の建設完了時期については、平成29年度末を目標にしていたところですが、用地選定が難航したことにより、現在のところ平成31年3月を予定しています。

当初、場所の選定を本市で行っていたところ、場所や面積等の条件で適地選定に困難を極め、一刻も早く建設に取り掛かる必要性から「民間事業者への土地建物提案公募型買い取り」という方法に切り替えて整備することとしたものです。

土木部も、復興のための工事その他もありまして手いっぱいでありまして、その中での用地選定もなかなか難しく、困難を極めたところでもあります。完成時期の遅れに伴う仮設住宅入居者への対応、ということですが、応急仮設住宅やみなし仮設住宅への入居期限が2年間から3年間に延長されたことで、当該住宅のうち一番早く到達する退去期限は、平成31年6月17日になりました。

現在調整中の100戸の災害公営住宅の最終完成予定日は平成31年3月末を予定していますので、100世帯の方は入居可能と考えています。

入居できなかった世帯の方への対応については、応急仮設住宅やみなし仮設住宅入居期限の再延長を県や国に要望してまいりたいと考えています。

問 2回目の意向調査で、入居希望の方がおそらく前回より増えたのではないかと思います、その当たりの理由とか背景がもし分かりましたらお願いします。

答 やっぱり、当初建設予定を進めていらっしゃる被災者の皆さんも住宅メーカーとなかなか、住宅メーカーが忙しいですし、そして当初、どうにかしないといけないと思われる方も、本当に困っていらっしゃる方がいらっしゃって、資金繰りからその他もろもろの点からもやはり状況が厳しくなりつつある中の入居希望者の増加ではなかろうかと、私は思っております。

問 あと100戸追加ということですが、整備地区などはお決まりでしょうか。

答 「公募型」でありますので、各住宅メーカーを中心に、住宅メーカーが土地を確保していただいてその中で応募していただいて、私たちが適地を含めて選定をさせていただくという形です。

問 では、残る100戸は全て公募されるということによろしいでしょうか。民間の土地で公募されるということでしょうか。

答 はい。

問 追加分の財源確保の目途とか、あと100戸作りたいということでスムーズに進められそうなのか、その見通しはいかがでしょうか。

答 75%が国・県の支援だと理解しておりますので、もうその中で我々がそれを遠慮するとかではなくて、被災者の方最優先でございますので、そのなけなしのお金を使ってでも国に要望しながら追加の100戸をお願いしたいと思っています。

答 （事務方）土木部長の成田です。補足いたします。残りの100戸の中で、新聞等で報道されました大野の憩いの家跡地ですか、そこは今30戸計画しておりますので、そこはあとの100戸の中に含まれる予定でございます。

最初はそこもやってたんですが、遺跡も出ましたもので、そこは第1次の予定もあったのですが、他のところを繰り上げて100戸とし、他の100戸の中に市有地の30戸も入る、というところでございます。

問 最初の 100 戸の予定の時間が総額 25 億円の事業費だったかと思いますが、200 戸にすることでどれぐらいの事業費になるのかを教えてください。

答 ほとんど倍ですよ。

答（事務方） はい。

問 倍の 50 億ということでしょうか。

答 はい。

【大野川リバーサイド・ロード(仮称)の整備構想について】

問 まだ設計が終わらないと分からないとは思いますが、だいたい何カ年事業でどれくらい費用がかかるのかを教えてください。

答 まだ、ある程度のルートを決めて、これが今いちばん必要な都市部の渋滞の緩和策だろうと、それからコンサルにお願いしていますので、それからある程度の金額が出ます。この効用についてはコンサルにかけて検討していきたいと考えています。今のところ 4 案ほどありまして、今日ちょっと見てもらいましたものが一番適切だろうというところで、一応議会にもご説明して内諾はもらっているつもりです。

【宇城市コミュニティビジネスセンター(仮称)の整備】

問 これはコミュニティビジネスの創出に向けた会議やコワーキングスペースの整備ということでございますが、例えば、ここで起業創業しようとした人がそこをそのままオフィスとして開設して利用することができるのでしょうか。もし利用できるとすれば期間とかの定めはあるのでしょうか。もう 1 点は、施設の側として、利用者に対して、例えばハードの面で提供できるもの、ここを使えばこういう利点がありますよというメリットと言いますか、または P R できるものがあれば教えてください。

答 はい。起業家の方々が事務所もない資金もないという中で、スペースだけは提供できるということで、そこにずっと居座ってもらおうとそれは困りますので期間があるとは思いますが。期間はありますか。決まっていますか。

答 （事務方）企画部長です。創業してそこにずっといられるのか、というご質問だったと思いますが、我々としては一定の期間で次の方の利用を促したいと思います。期間につきましては、まあ一般的にはいろいろ施設で定められていますが、3年から5年というのが一般的だと今伺っています。詳細につきましては、今後期間とか使用料とか、そういったものを検討・協議していきたいと思っています。

答 それと、この資料の中にパースといいますか絵が入っていますが、この右側のコンテナみたいなもの、ここで実際商売してもらって、これも有限の期間でしようけど、ここで実際ショップとして売ってもらおうとか、アンテナショップとか、実際顧客の方々と接触するという意味では、これもハードの提供ということになると思いますけど。いかがでしょうか。

答 （事務方）さきほどお尋ねいただきました、この施設のメリットでございませうけども、コワーキングスペースを設置する予定です。事務所を共同利用していただくというわけですが、個人の事業主あるいは創業・起業を予定する方々が共同で利用していただくスペースとして使っていただきます。

そこにはいろいろ設備を完備しておりまして、そこを共同利用する中で、異業種交流といいますか、新たなビジネスあたりが発掘されて作り上げられるということも期待しています。あと、もう1点、その施設にコンテナを使ったチャレンジショップというものを整備し、そこで試験的に販売をしてみたりと、いろいろな利活用をしていただいて、実際に創業するための準備として利用していただければと考えています。

【窓口業務の民間委託の開始について】

問 まず、委託先候補者の株式会社ケー・デー・シーさんは何会社さんと呼ぶのがよろしいでしょうか。というのが1点と、委託することによって、職員の数は次のページの住民票写しの交付におけるイメージ図でいくと、これまで4人の職員がしていたところを職員を3人減らせるということですが、全体でどれくらいの職員の方を軽減できるのか、費用としてどれくらいの削減効果

があるのかという試算のデータがあれば教えてください。

答 はい。担当からお願いします。ただ、まだ実験段階といたしますか、本庁のその部分をお願いして、我々も勉強したいというところでございます。

答 （事務方）市長政策室の成松です。委託先は株式会社ケー・デー・シー、総合的な人材派遣とか、そういうことをやっている会社となっています。それと、委託することによってのお金の面だと思いますが、まだ契約締結前でございますので具体的な契約額は申し上げられませんが、予算額、今回提示した予算の上限が6,200万円ほどを提示して、それに応札していただいています。それと、全体的な費用の削減効果というのは、今の時点では、直接的にはやはり6,200万、1年でいくなら3,100万円、そしてそこに職員がいなくなるわけですからそれだけは効果はでると思うのですが、その他にも、その方々がいなくなるわけではなくて他の部署に行って仕事をやるということですので、直接的な効果というか全体的な効果というのはやはり職員の人件費といったところでございますので、10人とすれば職員の人件費が2年で1億6,000万、委託した場合の委託費が1年で3,000万くらいになる、単純計算でそれくらいになります。以上でございます。

答 今、復興に向けて、もうマンパワーが全然足りない状況にございますので、当然、人件費の抑制もございますが、今後、正規採用その他はだから減らしているというわけではなくて、もうマンパワーが全然足りない状況にございますので、それをもって職員何名を削減して云々という具体的な数字は出しづらいところでございます。

答 その他では、来年4月22日は宇城市市議会議員選挙でございます。よろしくお願いたします。

今日はありがとうございました。また定期的にやらせていただきますので、ぜひおいでください。よろしくお願いたします。

以上